

The  
50th  
Years

# 岩室リハビリテーション病院 開院50周年



私たちが関わる人々に笑顔のある生活を!の理念を胸に

岩室リハビリテーション病院(旧称・岩室温泉病院)は、健診機関が運営する全国初のリハビリテーション病院として、1970年7月24日に開院しました。病気や事故などの後遺症を改善するための、新潟県内で最初に開院した、リハビリテーション専門のパイオニア的医療施設です。

そして、2020年は記念すべき、開院50周年を迎えます。岩室リハビリテーション病院で入院患者を支援する若きリハビリテーションのプロたちのまさに今、のレポートです。

## History

- 1970 7.24 ● 「岩室温泉病院」開院 80床
- 1973 5.1 ● 120床に増床  
12.25 岩室温泉病院 機能訓練棟 増築
- 1975 8.8 ● 岩室温泉病院 5周年
- 1980 7.17 ● 岩室温泉病院 10周年  
11.1 145床に増床
- 1982 11.25 ● 180床に増床
- 1984 12.25 ● 岩室温泉病院 機能訓練施設竣工
- 1987 1.1 ● 200床に増床
- 1990 7.27 ● 岩室温泉病院 20周年
- 2000 7.27 ● 岩室温泉病院 30周年
- 2002 7.24 ● 岩室温泉病院 新病棟竣工 190床
- 2003 2.20 ● 岩室温泉病院 増改築
- 2006 4.1 ● 医療療養型病棟95床を回復期リハビリテーション病棟95床に転換
- 2010 4.1 ● 365日リハビリテーション体制をスタート  
7.27 岩室温泉病院 40周年
- 2011 4.1 ● 「岩室リハビリテーション病院」に名称変更
- 2020 3.31 ● 介護療養型医療病棟95床を岩室リハビリテーション病院・介護医療院へ転換  
7.27 岩室リハビリテーション病院 50周年

作業療法士  
鈴木 優平です。

介護福祉士  
原 直輝です。

言語聴覚士  
結城 あかりです。

入院患者を支援する

## 特集 若い力のリレーレポート vol.1



鈴木 優平

作業療法士

作業療法士は、クリエイティブで個性を発揮できる仕事であると考えます。

きれいな色の折紙で、鶴や花などを折る作業(手工芸)です。一枚の折紙が立体的な形に変化するため楽しい作業で、身体の動作を通じて、精神も活性化させます。身体と精神、両方の機能の回復をめざす作業活動です。

私が岩室リハビリテーション病院で日々、作業活動を行っている時に強く感じることは、たとえば、複数の患者様が、同じ症状に悩んでいたとしても、ある一つの治療手段がすべての患者様にとって、有効であるとは限らないのです。自分自身の経験、考え方、得意分野のほか、日常生活の中における患者様との関係性など、様々な要因がリハビリの結果を左右することになると思います。

そういう意味で、作業療法士はクリエイティブで個性を発揮できる仕事であると考えます。「長所」や「自分らしさ」を発揮しながら、患者様の役に立つことができる仕事であるため、やりがいを感じています。

しかし、同時に私は、業務を遂行していく中で、患者様と接することの難しさも感じています。患者様の多くは、長い入院生活の中で日々、将来への不安を感じていらっしゃいます。それは、今までの生活で当たり前でできていたことができなくなり、焦燥感に駆られることや、もどかしさを抱えていることが多いと察せられます。

そのため、必ずしも励ますことが大切であるとは限りません。患者様の気持ちを汲み取り、寄り添っていくことがどれほど難しいことかを、改めて痛感しています。

また、治療を遂行していく中で、私自身が幅広い視点で物事をとらえることが得意ではないため、試行錯誤しながら日々の業務に励んでいます。

今後、私は作業療法士として、治療技術や知識を深めていくことはもちろんですが、プライベートでも今まで経験したことのない多くのことにチャレンジしていきたいと考えています。

その理由は、臨床経験だけでなく、仕事以外の経験や趣味、嗜好がリハビリに繋がることがあると思っているからです。患者様をはじめ様々な考え方を持った幅広い年齢層の方と接することも、自分自身をより成長させてくれるのではないかと考えています。

私は、岩室リハビリテーション病院に入職し、多くのことを経験しました。その中で、悩むことも多々ありましたが、同僚に励まされ支えられ、やりがいをもって業務を行うことができています。

今後、後輩ができた際に、先輩や同僚から学んだことを活かして、働きやすい職場であると感じてもらえるように、努めていきたいと思っています。

PROFILE

南魚沼市出身。趣味は、カフェ・パン屋・ケーキ屋巡り。リラックスする時は、サウナと水風呂を往復している時や音楽を掛けながら、掃除・洗濯をしている時です。



結城 あかり

言語聴覚士

言語聴覚士の  
日々の仕事で感じていることは、  
多職種連携の大切さです。

マジックブロックという教具です。モデルを見せて、それを立方体で構成することで、空間認知能力を高める目的に使います。様々な教具や道具を用いて、その方に最適な訓練を実施しています。

私は現在、岩室リハビリテーション病院の回復期棟で言語聴覚士として勤務しています。言語聴覚士とは、病気や事故、先天的な要因などにより、話す、聞く、食べることに困難を抱えた方に対して評価、訓練を実施し、自分らしい生活を送れるよう、サポートをする職業です。

当院の回復期では、おもに「脳血管疾患」や「誤嚥性肺炎後の廃用症候群」の患者様を対象に、言語訓練、嚥下訓練、高次脳機能訓練等を行っています。

私が日々の仕事で感じていることは、多職種連携の大切さです。当院では、医師、看護

師、介護士、理学療法士、医療相談員、栄養士などの多職種が連携し、一人の患者様に対してチームでのアプローチを行っています。

一日のうちリハビリで介入できる時間は限られており、リハビリの時間内で患者様の日常生活での様子や日々変化する症状を全て把握することは難しいものです。

そのため、患者様の些細な変化も見逃さないよう、多職種間でのコミュニケーションを密に取り、情報共有を図ることで、患者様にとってより良い支援が行えるよう常に心がけています。

私が仕事でやりがいを感じる時は、日々リハビリを行う中で患者様の少しずつできることが増えていき、患者様と喜びを共有することができたときです。

また、リハビリを担当していた患者様が元気な姿で退院され、ご本人やご家族から感謝の言葉をいただいたときにもやりがいを感じます。

岩室リハビリテーション病院に入職してよかったと感じることは、新人教育制度が充実している点です。私は新卒で当院に入職しましたが、新入職員向けの研修や勉強会などが充実しており、基礎的なものから実用的なものまで幅広い知識を身につけることができました。

また、業務や治療についてなど気軽に相談しやすい雰囲気があり、先輩職員からアドバイスをいただくことも多いです。

今後、プロとして自分の目標としていることは、患者様一人ひとりに寄り添った支援を行うことです。患者様の症状やニーズによって求められる治療は異なります。その方が困っていることや求めていることを汲み取り、それぞれに合ったリハビリテーションを提供できるように今後も努めていきたいです。

PROFILE

三条市出身。趣味は読書です。最近は忙しく、あまり読むことができていませんが、主に小説を読むことが多いです。私がリラックヌできる時は、甘いものを食べている時です。仕事で疲れている時などに甘いものを食べるとまた頑張ろうという気持ちになれます。



介護福祉士として、介護の仕事の  
楽しさと責任感を伝えたい!!



介護福祉士  
原直輝

ベッドサイドを訪れてのコミュニケーションは、気持ちを理解したり、安心していただいたり、信頼関係を構築する上で、とても重要です。リラックスしていただけるように、言葉掛けや表情に注意しています。

介護の仕事は、お年寄りや障害を持った方が、その人らしい生活が送れるように支援する仕事です。個々の暮らしや意思を尊重しながら、その人の希望に沿った日常生活を送れるように支援しています。

仕事をしている中で、私は、介護の仕事は誰でもできる仕事と誤解されているのではないかと考えています。介護の仕事には、食事介助、入浴介助、排泄介助などがあります。介護の仕事は、患者様に対して、その人らしい生活が送れるようにサービスを提供する仕事でもあります。しかし、どの介助にも特別な資格は必要ないので、一般的には誰でもできるというイメージがあるのではないかと考えています。

介護というプロの資格を得ることによって、自覚や責任感などが生まれるのではないかと  
思います。

私はまだ、介護職としてのプロとはいえませんが、プロになるためには、同じ職種の先輩方  
の介護技術を手本にしたり、多職種からの知識を学んだり、さまざまな研修などに参加して、  
コツコツとプロに近づいていきたいと思っています。また、介護の仕事は、誰でもできるという  
イメージを無くし、介護の良さと責任感を伝えていきたいと思っています。

介護の仕事の中で、患者様と触れ合うことが一番楽しいと私は思っています。天真爛漫な  
方や、気難しい方など、いろいろな個性を持った患者様と触れ合える日々がとても楽しく、や  
りがいに繋がっています。患者様にとっては、生活をする場所でもあるので、快適な環境を作  
り、楽しく過ごしてもらえるようにしています。

私は以前、介護施設で仕事をしていましたが、岩室リハビリテーション病院に入ってから、  
施設と病院の違いが多くありました。患者様の持つ疾患や現状を理解し、患者様の様子  
に配慮しながら、看護師と連携し、ケアを行うことが大切だと感じました。

また、病院で働いていると自然と医療的な知識を身につけることができます。自分の目  
見ての発見や気づきもあります。多職種のスタッフと連携しながら仕事の経験を積むことも  
できるし、カンファレンスに参加して、介護の視点での気づきや発見などについて発言する機  
会もあります。

当院は、サークル活動もさかんなので、スタッフが  
リフレッシュできますし、リラックスした雰囲気でコ  
ミュニケーションがはかれるスペースがあると、さら  
にスタッフの連携がよくなるのではないかと考えてい  
ます。

当院は仕事に前向きになれるような環境が整い、  
スタッフの方々も優しく、時には厳しく注意してく  
れるのでとてもありがたいと思っています。信頼される  
介護福祉士をめざし、がんばっていきます。

PROFILE

新潟市出身。趣味はサッカー、ドライブ、運  
動をすること。リラックスする時は、友人と  
のドライブです。休日か連休がある時に  
は、県外にドライブに行っています。

